



Sponsored by
タウンワーク
TOWNWORK

「Campus Life+1 2018」エントリー者を紹介!

僕の私のDream Photo Library



はぎわら ねいじゅ
| 鈴鹿高専 | 材料工学科1年生 | 萩原 寧珠さん | 16歳 |
三重県出身。中学より陸上を始める。名前の寧珠は、フランス語で雪という意味。



dream_Hagiwara



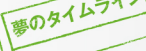
#中学時代の陸上部の写真
#部活動を通じて親友もできた



dream_Hagiwara



#高専では学校の陸上部に所属
#現在の種目はハードル



夢のタイムライン



dream_Hagiwara



#中学生時代に練習をしていた思い出の砂浜



dream_Hagiwara



写真提供:ミズノ

#陸上競技用の義足
#通称“板バネ”と呼ばれている

〃負担のない陸上競技用の義足をつくる!〃
中学3年生の夏、当時陸上部の部員であった私は、競技場で義足の女性ランナーが練習をしている姿を目撃しました。障害を抱えながらも、力強く、美しく走る姿に、心を奪われました。そして、私は次第にそのアスリートを支える義足に強い興味を持つようになったのです。歴史や進化などの資料を読

み、いつしか自分でつくってみたいと思うようになっていました。それで、中学卒業後の進路を義足やスパイクづくりについて学べる高専に変更。無事入学することができ、今は材料科学について学んでいます。競技用の義足に使われているのは、主にカーボンという素材です。ただ、カーボン製はコストが高い

え、環境的に処分するのが好ましくないとというデメリットを抱えています。私はこの高専に通う5年間で、材料科学の研究を進め、誰もが気楽に使え、負担なく走れる競技用の義足をつくりたいと考えています。そして、一人でも多くの足に障害を持つ方が笑顔で走れる世の中にしたいです。

みんなの夢、掲載中! 詳しくはコチラ!

インタク

検索

<http://entac.jp/>

主催: **ENTAC!**
enjoy talking campus

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

RECRUIT